

チーターランイベントは動物園の社会的使命を果たしているのか  
—利用者アンケート調査にもとづく評価—

○有馬一，鈴木由紀子  
(よこはま動物園)

動物の展示は，動物園の利用者に対する主要な事業のひとつである．展示の一環として，動物の行動を見せる様々なイベントがおこなわれている．動物園が持続的に発展するためには，その展示イベントが動物園の社会的使命に沿っていることが必要である．よこはま動物園では2017年12月から，チーター (*Acinonyx jubatus*) にとってエンリッチメント効果のある，「ルアーコーシングシステムを使用してチーターの狩猟（走る）行動を引き出すこと」を主体とした展示イベント（チーターランイベント）を不定期で実施している．チーターランイベントの利用者に及ぼす効果を測るために，2018年5月から2019年3月まで，計10回376票552ケースの利用者アンケートの自由回答にもとづく評価をした．方法は，フリーソフト KH Coder を用いた計量テキスト分析をおこなった．1) 共起ネットワークからイベントの全体像を把握した．その結果，チーターランイベントは利用者にとって，「楽しいイベントで，期待以上であれば，感動体験や驚異体験」を得られる傾向があった．さらに，「博物館における経験の分類」を援用した「経験価値」を指標として，コーディングを行い，2) イベントの経験価値構成の把握と，3) 満足度別の経験価値の分析をおこなった．その結果，魅惑的経験（感動を含む）とレクリエーション経験が主体のイベントであることがわかった．また，満足度が高いと，魅惑的経験価値と審美的経験価値が有意に高かった．以上のことから，よこはま動物園におけるチーターランイベントは，動物園にとって，社会的使命の一つである「動物の飼育展示を通して感動を与えるレクリエーションを提供すること」を達成していると結論した．動物園の持続的な発展のためには，有効な展示イベントであるといえる．